

大分県内の林業分野への就業を目指す 担い手育成を支援

～ 第5期「おおいた林業アカデミー」研修生9名を支援するため 大分森林管理署の職員を派遣 ～

10月19日、「おおいた林業アカデミー」を運営する公益財団法人「森林ネットおおいた」(理事長 重本悟氏)から講師派遣の要請により、大分県林業研修所(由布市湯布院町)に、植薄森林技術指導官、廣田主任森林整備官、嶋主任森林整備官、大城森林整備官補、木下技官を派遣し講義を行いました。午後からの現地研修では、森林整備事業【活用型】実行中の豊後大野市千歳町に所在する権現尾国有林内で行い、高倉総括森林整備官、堀田首席森林官、蒲池森林整備官を派遣するとともに、大分愛林(有)川野社長の協力により、伐倒、集造材の実演を行いました。

午前中の講義では、「①森林・林業の現状・課題、②経営計画を樹立、③路網作設」を各々1時間の持ち時間で説明しました。

午後からの現地研修は、権現尾国有林森林整備事業【活用型】実行中のフィールドを活用して、大分愛林(有)川野社長から日頃行っている作業の中から、列状間伐の手法、伐倒をする際の無線機を活用した連絡・合図の徹底など実演を交えて行いました。

「おおいた林業アカデミー」は、平成28年度から実施されており、令和元年度までの4か年に34名の研修生が卒業され、大分県内の林業分野で活躍されています。また、協力いただいた大分愛林(有)には、「おおいた林業アカデミー」第3期(平成30年度)卒業生2名が就業しており、林業技術を習得するため日々奮闘していることを紹介し第5期生へエールを送りました。

当署としましても、林業の担い手確保は重要な課題であると考えており、大分県で取り組まれている重要な施策でもあります。このような要請があった場合は、積極的な支援を行って林業の成長産業化へつなげていく取り組みを進めていきます。



講師 嶋主任森林整備官



講師 廣田主任森林整備官



協力会社 大分愛林(有)



現地研修の様子

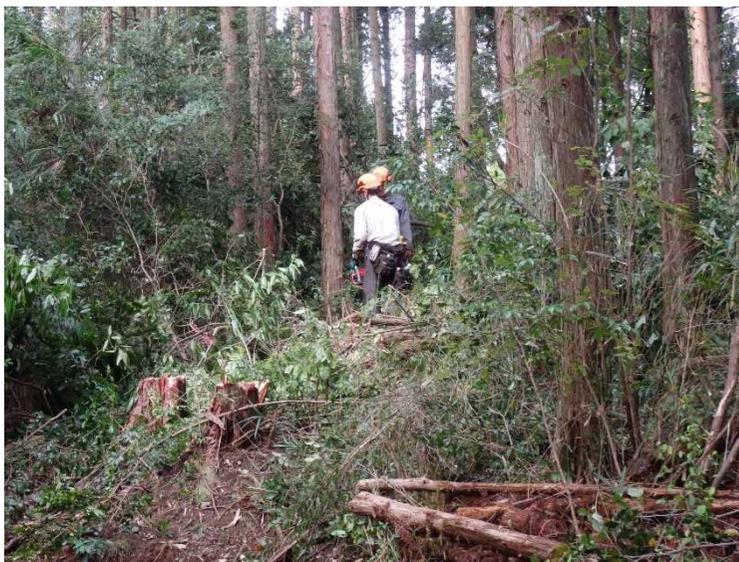
【現地研修】（豊後大野市千歳町 権現尾国有林 28林班内）



現地研修の様子



現地研修の様子



チェーンソーによる伐倒の実演



フェラーバンチャによる伐倒の実演